

## こども霞が関見学デー（農林水産省）の 豆類の展示等の取り組み状況について

（公財）日本豆類協会

平成29年8月2日、3日の2日間で恒例のこども霞が関見学デーが開催されました。今年は、このマメ何のマメ？ ～さわって・はかって・学んでみよう！～と題して、「マメの展示」、「マメの重さ当て」を主な内容とした企画となっていました。

「マメの展示」では、大きなボウルに入った小豆、金時豆、ひよこ豆、レンズ豆、花豆の乾燥豆に触れて色、形、大きさ等の違いを実体験してもらおう「マメつかみ」が行われ、子ども達は豆の特徴や感触の違いに興味を持ち、楽しげに豆と接していました。

その他、豆の優れた栄養、機能性等の知識・情報の得られるパネルの掲示、豆料理のレシピ等の冊子の配布、50種類の世界の豆の現物標本、当協会のPR用キャラクター「豆エイト」のタペストリーの展示等が行われていました。

また、「マメの重さ当て」では、参加した子ども達に小豆、虎豆、黒大豆のうち一種類を選んでもらい、100gを予想してすくってはかりで測定した結果が100gに近かった子どもに「豆エイト」をプリントしたTシャツが進呈されました。

今年は、2日間で1,200組以上の来場者があったとのことであり、今回の企画を通じ、子ども達の豆に対する興味や関心が高まり、豆好きの子どもが増えることを期待します。



会場の状況（手前:「マメつかみ」コーナー、奥:「マメの重さ当て」コーナー）